

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ココノハーツ名古屋瑞穂教室			
○保護者評価実施期間	2025年 5月 21日 ~ 2025年 6月 20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12人	(回答者数)	7人
○従業者評価実施期間	2025年 5月 21日 ~ 2025年 6月 20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数)	5人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 7月 11日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	高校生から年少児まで、幅広い年齢層の子供たちが、自然な形で関わりあえるような環境で、集団療育ならではの他者との関わり方において日々実践的に指導することができる	異年齢の交流を大事にし、お互いの立場を生かした関わり、安心できるような取り組みの中で子供同士が協力しあうことをバックアップし、お互いが認めあえるような言葉かけや対応を進めている	他者との関わりの中で生じるトラブルに適切な対処は一体何なのか？性格も特性も違う子供たちにおいてそれが納得できるような気持ちの抑え方や表現の仕方を一緒に考えていきたい
2	子供たち一人ひとりの特性を理解し、安心できる環境とスタッフ対応を心がけている	子供たちの日々の状態を把握し、それぞれに合ったタイミングでの声掛けや活動を行うことで自分らしく過ごせる場所作りと、そのためのスタッフ間での情報共有、支援会議を密に行っている	それぞれの子供たちの心の拠り所の一つになるような支援を引き続き行う また何をもって拠り所になるかは子供たちによって違うので子供たちが自分らしさを発揮しながら成長していくように支援していく
3	同年代のお子様も多いため、特性を踏まえた上で成長の進度を加味した判断をしながら支援ができる	数字、文字などの学習的側面とトイレトレーニング、食事方法などといった生活面での支援も重視している	年齢の近い小学生児童との交流を図り、就学に向けて必要なことを子供自身に意識させることで成長を応援する

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故対応、災害対応などの緊急対応マニュアルなど保護者の方々に対して対応方針が十分に伝わっていないという課題がある	社内でのマニュアルは用意してあっても外部に伝えることは契約時にしか行っていなかったことに起因する	対応内容を明文化して配布 保護者との情報共有の強化をしていくため、紙ベースの「おたより」やプログラムとして避難訓練を行うことを明確に盛り込むなどして周知に励む 保護者との面談時に一言付け加える
2	教室内で完結するプログラムが多く、お出かけメニューがあまりない	安全面や体制の都合により積極的な交流活動の企画、実施が難しい状況であったため社会と関わる経験や多様な人との関わりが不足している	図書館や児童館、公園などへのお出かけプログラムの充実を図る 他事業所との連携や合同イベントなど外部との関わりを取り入れていく
3	保護者同士の交流が少ない	保護者会を開催するも「仕事がある」「家族ででかける」といった理由により参加が促せなかった 開催日程や、時間帯が保護者の方々と合っていなかった可能性があり、今後参加しやすいように柔軟な形にしていく	保護者面談については日程に幅を取って随時教室に来られる機会を増やすなどし、徐々に集まりやすくなる状況を準備していく おたよりに申し込み希望日などを掲載して促進する